

| 戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録 | | | |
|----------------------------------|--------------------------------|-----|--|
| 招 集 期 日 | 令 和 3 年 2 月 1 8 日 (木) | | |
| 場 所 | 戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室 | | |
| 開 会 | 2 月 1 8 日 午 前 9 時 3 0 分 | | |
| 閉 会 | 2 月 1 8 日 午 前 1 1 時 0 0 分 | | |
| 教 育 長 | 戸ヶ崎 勤 | | |
| 教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況 | 戸ヶ崎 勤 | 出 席 | |
| | 仙 波 憲 一 | 出 席 | |
| | 鈴 木 晃 | 出 席 | |
| | 土 肥 美 奈 子 | 出 席 | |
| | 木 村 雅 文 | 出 席 | |
| | | | |
| 説 明 員 | 山上教育部長、星野参事、佐藤次長兼教育政策室長、 | | |
| | 栗津副参事兼教育総務課長、片岡学務課長、 | | |
| | 教育政策室田野担当課長、小須田学校給食課長、関根生涯学習課長 | | |
| | | | |
| 書 記 | 教育総務課総務担当 香林副主幹、田仲主事補 | | |
| 傍 聴 人 | 無 | | |

会議の経過及び結果

教育長

ついこのあいだ年を越したと思ったらもう2月も半ば、今日2月18日は、二十四節気の一つ「雨水」です。立春から2週間が過ぎ、暦の上では確実に春に向かっていきます。雨水とは、降っていた雪は雨に変わり、冬の間積もっていた雪や張っていた氷が解けて水になる頃という意味です。この頃から草木も芽を出し始め、昔から雨水は農作業の準備を始める目安とされました。次の二十四節気は、「啓蟄」で今年は3月5日です。しかし、本格的な春の訪れにはまだ遠く、大雪が降ったりもします。三寒四温を繰り返しながら、春に向かっていきます。

そろそろ梅が咲いているのを見かけるようになりました。かつて今頃の時期に手紙に「探梅の候」との季語を書いたら、俳句好きの先生からお叱りをいただきました。さきがけの一輪二輪を、まだ風も冷たい野山に求める「探梅」は冬の季語である。立春を過ぎると、色香を楽しむ「観梅」に季語は変わるのだよ。とのことでした。日本人の季節感は実に細やかです。東京近郊の感覚では、今が探梅から観梅への、ちょうど移行期かもしれません。

また、今年も花粉に悩まされる季節にもなりました。東京都は今月6日に都内でスギ花粉が飛び始めたと発表しました。過去10年の平均よりも10日早く、予想される飛散量は昨年より1.8倍になるとのことです。でも、例年の7割程度と聞いて少し安心しました。

一方、花粉症患者にとって気が重いことには、コロナ禍以前には必要のなかった負担を強いられることです。たとえばコロナ対策に欠かせない換気を頻繁に行えば、室内に花粉を招き込んでしまいます。電車の中でくしゃみをすると、マスクをしていても、他の乗客から冷たい目で見られてしまいます。花粉症でくしゃみが止まらない人のために、コロナ感染者でないことを周囲に示すバッジやスタンプが人気を集めています。

花粉症は新型コロナウイルス感染症と症状が似ており、花粉症と思い込んで対応が遅れると、重症化する危険があります。無症状で感染に気づい

| | |
|-------|---|
| | <p>ていないコロナ患者が、持病の花粉症によるせきやくしゃみでコロナ感染を広げる恐れがあると指摘されています。「くしゃみをする時は下を向いてマスクを押さえ、すぐに手を洗う」ことが大切だそうです。</p> <p>梅の次は桜です。今年の桜の開花は全国的に平年よりも早いところが多いとの予想です。昨年の花見は、宴会自粛と花粉もあってか、室内花見が注目されました。全国のコロナ新規感染者数は減少傾向ですが、その傾向が鈍っている地域があり、高齢者の感染割合が高まり、重症者や死亡者が減るのに時間がかかる可能性もあるとのこと。まだまだ我慢のときが続きます。今年は日本、そして世界でこの春の風物詩の一部だけでも楽しむことを願ってやみません。</p> |
| 教 育 長 | <p>それでは、ただ今から、令和3年第2回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p> |
| 各 委 員 | <p>了承</p> |
| 教 育 長 | <p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、個人情報及び人事案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p> <p>報告事項③ 市内中学校の生徒指導案件について 議案第8号 戸田市教育委員会表彰について 議案第9号 令和3年度当初戸田市立小・中学校教職員の人事異動（案）について</p> |
| 各 委 員 | <p>異議なし</p> |
| 教 育 長 | <p>それでは「報告事項③、議案第8号及び議案第9号」は、秘密会とすることに決定いたしました。</p> |
| 教 育 長 | <p>はじめに、「教育委員提案」について御報告いたします。以前の教育委員会にて委員より御質問のあった件について報告がございます。</p> <p>それでは、以前に仙波委員と木村委員から御提案のありました内容をまとめて「教育委員提案①デジタルデバイスと子供のインターネットリテラ</p> |

| | |
|-----|---|
| | シー（情報モラル）について」事務局より説明願います。 |
| 事務局 | <p>今回の教育委員提案は、教育委員さんから御提案の「デジタルデバイドについて」と「子供のインターネットリテラシー（情報モラル）について」、関連がありますので一括して御説明いたします。</p> <p>2 ページ下段を御覧ください。まず「デジタルデバイドについて」御説明いたします。一般的に、デジタルデバイドとは、「インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差」のことを言います。具体的には、インターネット等の利用可能性に関する国内地域格差を示す「地域間デジタルデバイド」や国際間格差を示す「国際間デジタルデバイド」、また、身体的・社会的条件（性別、年齢、学歴の有無等）の相違に伴う ICT の利用格差を示す「個人間・ 集団間デジタルデバイド」等の観点で論じられることが多いです。今回は、「個人間・ 集団間デジタルデバイド」の観点から、「教職員のデジタルデバイド」と「児童生徒のデジタルデバイド」の 2 つにしばって御説明いたします。</p> <p>初めに教職員間のデジタルデバイドについてです。これについては、教職員一人一人のこれまで経験や習得してきた ICT リテラシーに大きく左右され、パソコンをはじめとしたデジタル機器や校務支援システムなどの活用状況などでも差が出ているものです。</p> <p>現状としては、各校の情報教育主任や ICT 教育研究推進委員などを見ても若手が多く、こうした得意としている教師が苦手な人を含め学校全体をフォローしているような状況です。一概には言えませんが、ベテランの中には「ICT なんて使わなくても黒板とチョーク、紙があれば授業はできる。」とか「デジタル機器のトラブルが起きた時、対処できない。」といった理由から敬遠する方がいるのも確かです。今年度当初の臨時休業期間中に各校で取り組んだオンライン学習では、動画作成においてやはり得意とする若手が中心となってやったという話を聞きました。しかし、ICT を苦手とするベテランも動画の内容や構成などにおいて積極的に関わり、チームで取り組んだというような学校も多かったようです。こうした経験から、今年度</p> |

授業の中で使い始めたベテランの先生も増えてきており、授業での活用では若手よりも上手なこともあります。

今後は、クラウドバイデフォルト時代においてはセキュリティや権利の尊重などの必要性や新たな課題が生じることが想定されます。また、日進月歩のデジタル機器に対応していくには、教師も常にアップデートしていく必要があります。そのために、研修による外的インプットや ICT を活用しようとする内的なマインドを持たせることも重要です。

3 ページの上段を御覧ください。ICT の活用促進に向けた教育委員会の取組です。まずは研修会の実施により、校内での推進役となるリーダーを育成しています。また基礎的な使用方法についての研修や各校における ICT レッスンアドバイザーによる実技研修により個々の教師の活用スキルや活用の幅を広げるように努めています。また、使ってよさを感じさせることも重要です。そのために、グッドプラクティスの展開や教師自身が創るカリキュラムを紹介したり、学校訪問で ICT をマスト活用したりすることで使用への心的なハードルを下げています。また、大胆にマインドセットを変えるために ICT 活用の必要感を感じるようなカリキュラム・マネジメント研修を設定したり、先進的な ICT の活用に向けて産官学の連携を積極的に進めたりしています。さらには、新たな学びのコンテンツとして、ICT 活用がマストとなるような学びを推進しています。具体的は、プログラミング教育や PBL、学習者用デジタル教科書や AI ドリルなど、ICT がなければできないような学びを推進することで、より一層必要感が増してきています。

こうした様々な取組や仕掛けにより、これまでは個々の教職員のやる気と能力に頼った個人戦だったのを、ICT 活用をお互い切磋琢磨し合うような団体戦、もしくはチーム戦のようにしていくことが重要であると考えています。

次に、3 ページ下段を御覧ください。児童生徒のデジタルデバインドについてです。臨時休業期間中に顕在化した課題として、子供自身の自学自習を支える基礎的な ICT リテラシーに大きな差がありました。例えば、アカ

ウントの入力、任意のファイルやアプリを開く、ウインドウの操作、キーボードの扱い、タイピング量など、これまではみんなができるまで待ってくれ、教師が一人一人教えて回っていましたが、自分一人でやらなければなりません。さらには、家庭の ICT 環境や保護者の支援の量でも大きな差が存在しています。ICT リテラシーについてはこれまで体系的な指導指標も存在していないため、何をどの程度身に付けさせる必要があるか明確になっていませんでした。今年度はその課題の解決に向けて、各校から代表に集まってもらっている ICT 教育推進委員会で作成しているところです。

今年度、コロナ禍において飛躍的に活用が進んだ ICT ですが、それと同時に表出したデジタルデバイドについては、対症療法的な取組ではなく、意図的、計画的、継続的に対応してまいります。

続きまして、4 ページを御覧ください。子供のインターネットリテラシー、情報モラルについて御説明します。下段は、小学校学習指導要領解説総則編における「情報モラル」関係の記述についてです。情報モラルとは、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度であり、具体的には、情報社会での行動に責任をもつことや情報を正しく安全に利用できること、健康等のかかわりを理解することである、とされています。重要なのは、一番下段にありますとおり、情報モラルに関する指導は、道徳科や特別活動のみで実施するのではなく、各教科等との連携やさらに生徒指導との連携も図りながら実施することが重要です。

5 ページを御覧ください。上段が小学校学習指導要領、下段が中学校学習指導要領に記載されている各教科等における情報モラルに関わる記載です。一つ一つは説明いたしません、このように様々な場面で機会をとらえて指導していくことが重要です。

6 ページ上段を御覧ください。情報モラル教育の実施上の課題として、先ほどの ICT リテラシーと同様、体系的な指導指標がなく、指導や能力の育成は各学校にゆだねられていることです。つまり、学校や教師の意識の差により、指導内容等に差が生じてしまうということです。また、こうした情報社会における課題は日進月歩であるということも挙げられます。こ

こ10年間でスマホの所持率は急増しており、抜け道などは子供たちの方が詳しくなっています。もはや大人を超えるような子供たちに対して、管理や規則を徹底するような「縛るルール」は効果がないという研究結果もあるようです。日々進歩するデジタル機器に対しては適切に使う方法を身に付けていくことが大切です。

6ページ下段を御覧ください。本市では、教育委員会のホームページでここにある情報モラルスクールを掲載しています。子供たちに非常にわかりやすい説明となっており、次のページの上段にもありますが、コンテンツも様々そろえています。

また、7ページの下段を御覧ください。国の資料等も紹介して積極的な活用を促しています。さらには新しい取組として、一部の学校で取り入れているDQ（デジタルインテリジェンス）などもあります。このようにコンテンツは様々ありますが、いつ、だれが、どのように指導していくか明確ではありません。

そこで、8ページを御覧ください。現在戸田市プログラミングICT教育研究推進委員会において情報モラル・セキュリティ教育の系統表を作成しております。これにより先ほど紹介したようなコンテンツなどを合わせて配置した一覧を学校に示し、活用を図っていく予定です。

最後に参考までに、デジタル・シチズンシップについて紹介いたします。これは文部科学省中央教育審議会の会議でNPO法人カタリバ代表理事の今村氏が扱った言葉で、法政大学の坂本教授の論文からの引用です。

「GIGAスクール構想を実現する上で、デジタル前提社会で生きる子どもたちがそのリスクを理解し、安心安全に利用しながら可能性を広げられるように、『デジタル・シチズンシップ教育』の推進が必要。現在の『情報モラル教育』は、個々の安全な利用を学ぶものであるのに対し、『デジタル・シチズンシップ教育』は人権と民主主義のための善き社会を創る市民となることを目指すものである。それは、個人のモラル教育ではなく、パブリックなモラル教育とも言える。利用を躊躇させる情緒的抑制から、賢

| | |
|-------|--|
| | <p>く使う合理的活用ができる人材育成へと、転換をすべきである。」</p> <p>今後目指すべき方向性について、「情緒的抑制から合理的活用へ」という観点から今後も研究してまいります。</p> |
| 教 育 長 | <p>何か御質問等がありましたら伺います。</p> |
| 委 員 | <p>大変わかりやすく理解が進みました。ありがとうございます。ICT リテラシーや情報モラル教育に、体系的な指導指標がなく、各学校に委ねられているとの説明がありました。</p> <p>戸田市として、何らかの形で各学校に任せた指標を一つにまとめる試みはされているのでしょうか。</p> |
| 事 務 局 | <p>資料の3ページにございますが、戸田市では、戸田市プログラミング・ICT 教育研究推進委員会において、ICT リテラシーの系統案を作成しているところであります。</p> <p>いつまでにどのくらいスキルを身に付けたら良いのか、各先生からの課題をもとに、代表の先生を中心に作成をしています。今年度中に作成し、各学校の実態に合わせて活用してもらう予定であります。</p> |
| 委 員 | <p>戸田モデルができると戸田市の注目度があがります。</p> <p>もう一つ、ベテランの先生がICT をうまく使うということは、技術的には慣れていないが、一度教えるとうまく使えてしまうのですか。</p> |
| 事 務 局 | <p>最初は躊躇して使わなかったベテランの先生も、一端使えるようになり活用方法が広がってくると、ICT をどう使うと効果的に使えるのかということイメージしやすいです。そうした先生の中では、より一層自分のスキルとして広がっていったという方も増えております。</p> <p>ICT への取組がなかなか難しかった先生にとっても、昨年4月から5月は緊急事態宣言で、オンラインでしか繋がらなかったのが、意識改革の良いきっかけになりました。</p> |
| 委 員 | <p>戸田市の ICT 教育の事例は、全国のベテランの先生の背中を押すエビデ</p> |

| | |
|--------------|---|
| | <p>ンスではないかと感じました。</p> |
| <p>教 育 長</p> | <p>かつての IT 教育の機器と違うのは、GUI（グラフィカル・ユーザー・インターフェイス）が格段に進歩しています。</p> <p>視聴覚教育の頃は、コンピュータのハードにいかに精通しているかということが課題でしたが、今は、コンピュータの使い方に迷うことはありません。それよりも、授業の中でどう活用するかということが大切で、指導のポイントを押さえられるベテランの先生から、若手の先生に ICT の活用方法を継承して行く必要があると思います。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>さまざまな形で ICT 教育を進めていただいているので安心しました。戸田市の教育の質にも関わってきますので、今後もしっかりと進めていただきたいと思います。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>説明の後半の部分で、ネットいじめ、ネット依存と色々な問題が出てきました。学校側で縛る部分ではありますが、逆に戸田市の子供たちは色々なものを使って挑戦していき、発見して作り上げていくので、今後も進歩していくのではないかと思います。</p> <p>他の市町の話を書きますと、学校現場や市町村で管理して子供たちにやらせないとのことですが、戸田市では様々な挑戦をして行くので、伸びていくことを実感しています。</p> <p>また、情報デバインドとしては、大学を出た若い先生が学校現場で直ぐに ICT を使わなければならないため、大学での ICT の学習状況を伺います。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>大学では1年生時に情報リテラシー、情報モラル、そして最低限必要なワード、エクセル、ネット、パワーポイントを全7回で学びます。その後は自分で学びます。</p> |
| <p>教 育 長</p> | <p>国の会議等でも指摘されていて、今回の答申の中にもその一文が入っており、教員養成の段階から ICT 教育を積極的に学んで行かなければなりません。教育の大学で、ICT による学びをマスト化することは、これからも間違いなく広がって行きます。</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>国としても情報格差を課題として考え、大学との連携を議論しているところだと思います。</p> |
| 教育長 | <p>この間も大学で話をさせていただいたのですが、戸田市の学校教育における ICT 活用の現状を話したところ、そこまでやっているのでは自分たちもこういう ICT 教育を育んで行かなければならないと、学生が大変驚いていました。まだまだ現実はそのまで行っていないと思いますけれども、様々なところで ICT の必要性が言われています。</p> <p>戸田市では危ないから触らせないのではなく、学校全体として、考えながら多めに ICT を使わせていく中でモラルを育成しています。これからは、そうしたスキルを持った教師が入ってくることを期待したいと思います。併せてデジタル・シチズンシップの推進を、今後も引き続き進めて行きたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>デジタルデバイドは、学校間や教師間の差があり、年配の先生は黒板とチョークがあればということでしたが、コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言中にオンライン学習が行われたことにより、ICT 教育が進んでいるとすれば良いことだと思います。</p> <p>学校訪問では、ICT を使っている学校と使っていない学校の差を激しく感じたので、ICT が波及する方向に行っているのならば良いと思います。</p> <p>年配の先生には壁があると思いますが、私でも仕事で必要なときは ICT を使えます。先生方も頑張ってもらっていただき、学校訪問で ICT をマスト活用していただければ、指導の先生も入るので、その姿を見ていきたいと思っています。</p> <p>情報モラルについては、子供たちがスマホを使い始めた際に、親から学校で指導してほしいとありましたが、この時は、親の責任ではないかと思いました。GIGA スクール構想で 1 人 1 台のパソコンとなった際には、学校で教員の養成・採用・研修で、一体的に情報リテラシーや情報モラルのスキル育成に取り組まなければならないと思います。</p> |

| | |
|-------|--|
| 教 育 長 | 他にご意見はございますか。 |
| 委 員 | <p>先ほどの補足ですが、大学では情報リテラシーを認定制度にしており、レベル1からレベル4まで4まで行くと情報リテラシーの単位が取れるようになっています。学習は、いつでも授業以外でもどこでもできるようになっており、すべてコンピュータが認定します。質問は上級生のチューターが対応し、大学の教員は関わりません。</p> <p>デジタル・シチズンシップ教育とは、健全なる市民を育成するにはどのような教育が必要かということです。自分がどう考えて判断し、行動して社会に貢献するには、情報リテラシーの活用が不可欠ということで ICT 教育の推進に多いに期待します。</p> |
| 教 育 長 | <p>以前に情報化の関係の認定制度が戸田市教育委員会でもありました。</p> <p>キーボードで1分間に何文字入力できるかということで、教師がどこまで伸びたのかやったことがあります。</p> |
| 教 育 長 | <p>人から評価されると管理的なものを感じます。いつでもどこでもできる AI の判定は、モチベーションにもつながります。教育委員の言われた自分自身で認定してスキルアップしていく方法を調べてみてください。</p> |
| 事 務 局 | 承知しました。 |
| 教 育 長 | <p>中学校では急に ICT を使うようになりましたが、コロナウイルス感染症の拡大防止のため教育委員の方々が学校訪問を見られていないので、オンライン授業参観、デジタル学校訪問等、ビデオ片手に授業を回っていくことも考えてみてください。</p> |
| 事 務 局 | 承知しました。 |
| 教 育 長 | <p>それでは他に御質問等がないようですので、続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして4件の報告がございました。</p> <p>① 令和2年度小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会の実施について</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>② 図書館サービスの一部休止の延長について</p> <p>③ 市内中学校の生徒指導案件について【秘密会】</p> <p>④ その他</p> <p>秘密会以外の詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p> |
| 事務局 | <p>1 ページを御覧ください。去る1月16日に、新型コロナウイルス感染拡大によりオンライン配信により実施いたしましたプレゼンテーション大会について報告申し上げます。</p> <p>今年度、5回目となりましたが、忌憚なく御指導いただける審査委員の皆様、内容のレベルアップについて高評価をいただくことができました。まだまだすべてというわけではありませんが、多くの発表内容はプロジェクト型の学習の延長線上にあるものや、学びのプロセスがよくわかるものとなってきました。</p> <p>グランプリは、戸田東小と喜沢中でした。今後、プレゼン大会が単なるイベントではなく、日々の授業の延長線上にあるものとなるよう一層教員研修を充実するなど、推進していきたいと考えております。</p> |
| 事務局 | <p>資料2ページの「報告事項② 図書館サービスの一部休止の延長について」、説明いたします。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、令和3年1月12日（火）から2月7日（日）まで図書館サービスを一部休止していたところですが、2月4日に緊急事態宣言が3月7日まで延長されたことを受け、開催された戸田市第36回新型コロナウイルス対策本部会議で、市内の屋内公共施設を原則休館とし窓口業務のみとすることを、緊急事態宣言より短い期間ですが2月21日（日）まで延長する戸田市の方針が決定されたことから、図書館サービスの一部休止を延長することといたしました。</p> <p>対象施設は、戸田市立図書館全館です。利用できるサービスは、資料の貸出・返却・予約・リクエスト等の窓口業務と電子図書館、利用できない</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>サービスは資料の閲覧・座席利用・利用者端末の利用等でございます。周知方法は、ホームページ、館内掲示等で行いました。</p> <p>なお、昨日、戸田市第37回新型コロナウイルス対策本部会議が開催され、屋内公共施設を原則休館とする期間が2月21日から緊急事態宣言と同じ3月7日まで延長されましたことから図書館サービスの一部休止を同期間延長することといたしましたことを口頭ですがご報告いたします。</p> |
| 教 育 長 | 次に④その他ですが、事務局より何かありますか。 |
| 事 務 局 | 特になし |
| 教 育 長 | <p>以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。「報告事項① 戸田市小中学校プレゼンテーション大会の実施について」はいかがでしょうか。</p> |
| 教 育 長 | <p>プレゼンテーションの質は年々進化し、審査員から大変素晴らしいと評価されました。日常的にPBLに取り組んでいる学校が評価されています。生徒会など一部の子供の取組ではなく、あくまで授業の一貫で取り組むということが来年の課題となりました。</p> |
| 教 育 長 | 「報告事項② 図書館サービスの一部休止の延長について」について、御質問等がございますか。 |
| 委 員 | <p>私の電子図書館の利用は、貸出券の更新手続きをしたところ、簡単につながりました。図書館に行かなくとも様々なものが借りることができ、拡大やページ送り、音声読み上げができます。電子図書7,000冊ということですが、もっと増やしていただきたいです。また、借りる際に、予約者数が表示されるが、電子書籍は同時に何名借りることができますか。</p> |
| 事 務 局 | 1冊のものと、複数冊のものがあります。借りた冊数は、10日毎に統計で把握しています。 |
| 委 員 | <p>何冊借りているのかということや、予約の順番待ちもわかります。今後は電子書籍をもっと増やしていただきたい。電子書籍の金額はどの位です</p> |

| | |
|-----|---|
| | か。 |
| 事務局 | 書籍にもよりますが、1冊3,500円位かそれ以上になります。 |
| 委員 | 子供たちも手軽に調べて活用できます。電子書籍をどんどん増やしていただきたいです。 |
| 教育長 | <p>電子図書館に対する教育委員等の利用者からの高い評価を、市民にもっと共有されるようにしていただきたいです。PRが足りないような気がします。電子図書館が素晴らしいという声を発信してほしいと思います。</p> <p>借りた電子書籍を車の運転しながら耳で読書するとか、主婦が料理をしながら読書する等、電子図書館の可能性が広がっていくのではないのでしょうか。啓発を含めて周知をお願いします。</p> |
| 教育長 | 続きまして、「報告第2号 生涯学習課所管施設の臨時休館について」事務局より報告願います。 |
| 事務局 | <p>資料1ページからの「報告第2号 生涯学習課所管施設の臨時休館について」、説明いたします。</p> <p>図書館サービス一部休止の理由と同様に、2月4日に開催された戸田市第36回新型コロナウイルス対策本部会議での決定に基づき、生涯学習課所管5施設についての臨時休館を延長いたしました。</p> <p>内訳として、資料1ページの芦原小学校生涯学習施設、2ページの少年自然の家、3ページの公民館、4ページの郷土博物館、5ページの彩湖自然学習センター、これら施設の臨時休館を延長いたしました。</p> <p>休館期間について、少年自然の家は長野県にある宿泊施設であり、都道府県をまたぐ移動自粛要請がありましたことから、同じ宿泊施設である静岡県の戸田市保養所「白田の湯」と同様に国の緊急事態宣言と同期間の3月7日までといたしました。それ以外の施設は、市内の屋内公共施設と同様に2月21日までといたしました。</p> <p>なお、昨日、戸田市第37回新型コロナウイルス対策本部会議が開催さ</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>れ、公共施設を原則休館とする期間が2月21日から3月7日まで延長されましたことから少年自然の家以外の4施設につきましても、臨時休館を同期間3月7日まで延長することとし、また2月22日以降、貸室は午後8時まで定員の50%以下で利用再開する方針となり、該当する芦原小学校生涯学習施設は利用再開することとなりましたことを口頭ですがご報告いたします。</p> <p>また、施設につきましては、それぞれの条例等で休館日を規定しておりますが、各ページの一番下の下線部で「その他教育委員会が必要と認めた日」と規定されているため、本来であれば、事前に御了承いただくべきところですが、緊急対応ということで、何卒、御理解いただきますようお願いいたします。</p> |
| 教 育 長 | 何か御質問等がありましたら伺います。 |
| 事 務 局 | 次回教育委員会定例会の日程ですが、3月19日（金）午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。 |
| 教 育 長 | それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。 |
| 各 委 員 | 了承 |
| 教 育 長 | それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。 |
| 事 務 局 | 特になし |
| 教 育 長 | 委員の皆様から教育委員提案のテーマについて何かございますか。 |
| 委 員 | オンラインを中心として、戸田東小中一貫校、小学校と中学校の連携、他の学校との連携等、学校間を超えた連携について、今後どのように発展していくのか伺いたいと思います。 |
| 教 育 長 | オンラインに特化したものとして、教育政策室で早いうちに説明をお願いします。 |

